

第5回三次市行財政改革推進審議委員会会議要旨

平成26年4月17日
15:00 から 17:00
三次コミュニティセンター2階研修室

- 出席：橋本会長，堀江副会長，湯藤委員，富野井委員，廣中委員，田村委員，
新宅委員，小川委員，新藤委員，元吉委員，山根委員
- 事務局：藤井部長，新田課長，奥野主任

【市役所に何を求めるか，こういう市役所であってほしい】

(行政の姿)

- ・企業が破たんした場合は，清算して消え去るものだが，行政は財政破たんしてもそうはいかない。行政の核となる仕事（これをしないと行政ではない仕事）と，選択できる仕事（あったらいいと思う仕事）を分けて考える。核となる仕事はいかにしても継続していく。行政の仕事の中には，地域でやった方が地域活性化につながるものもある。
- ・行政職員と地域のコミュニケーションがとれなくなっている。整理しないと益々，行政と住民の意識が離れていく。
- ・地元出身の支所職員が年々減っていき，市民と行政との隔たりを感じる。意思疎通・対話ができていない。「共感・決断・行動」の共感ができていない。支所職員には郷土愛を育んでほしい。
- ・「共感・決断・行動」のサイクルを早くすることが三次市の将来の特長になってほしい。そのことで，三次市に住んで良かったという共感が生まれる。「2034年には全国500自治体が消滅する。高齢者世帯も34%超える。」という記事があった。自治体間で人の奪い合いになる。
- ・市長や市議会議員の選挙の年には，市民は市政について真剣に考える。今の市政懇談会以外にも，もっと市政について考える機会があっても良い。
- ・閉塞感の最大要因は人口減少。防ぐためには国策で人，産業の移動をしないといけない。行政職員で「何が問題か，どうするか」を挙げてみる。その中で「何をやるか，いかにやるか」考えてみる。
- ・将来の人口目標，総合計画では定めていないが，大きな目標は定めるべき。30年後には三次市の人口4万人という国の推計もあるが，5万人を維持したい。そのためには，お金をかけずに知恵をだしていくしかない。

(行政の仕事)

- ・雇用の場づくりを市全体で取り組んでほしい。また，できるだけ業務を外部委託して民間雇用を生んでほしい。
- ・婚活などの行事を市役所がつくってほしい。
- ・中国山地の十字路を生かした産業づくり，教育改革が考えられないか。

(財政改革)

- ・ 国家予算の半分は借金。我々の子ども、孫世代にいかにかそれを減らしていけるか考えないといけない。かつて住民側は、行政に頼めば何でもやってもらえる「良い時代」を過ごしてきた。住民にはその意識の改革が求められている。ハード面の整備も限界が来ている。
- ・ 行財政改革の基本は財政改革である。市には、10年、20年後を見据え、現在の人口5万5千人ではなく、4万人を想定して物事を考えないと財政破たんする。
- ・ ジェネリック医薬品の推進を徹底してやるべき。中央病院の独立採算維持のためにも必要。
- ・ 市民は「我慢する」ことをやっていく。あれもこれもではなく我慢することがないと行財政改革は絵に描いた餅になる。
- ・ 市の予算は、市としての金の出入りの話。経済行為全体でどうかの見方がいる。どれだけ市外から市内へ入っているか、市内から市外へ出ているかが重要。

(地域づくり，市民)

- ・ 地域づくりは、地域コミュニティが基本。隣近所づきあいのないまま人口増となってもコミュニティではない。地域をどう維持していくかが大切。
- ・ 地域の人口が減少していけば、一か所に集まって住むということもあるかもしれない。
- ・ 地域の中で居場所があることが大切。若い世代にもそのような環境があればよい。
- ・ 「帰ってこい」というのではなく「帰ってきたい地域づくり」をしていく。ここの地域が好きなら仕事は何をしてでも暮らしていきたいと思う。
- ・ 「子どもを三次で生んで良かった」と思われないと持続性がない。
- ・ 市民は、自分が住んでいる地域以外のことは市内のことでも知らない。例えば八次に住んでいる人が甲奴や作木のことをどれだけ知っているか。地域のことを知る機会がどのくらいあるのか。
- ・ 市民一人一ボランティアがあってもよい。
- ・ ボランティアは最低限の必要経費だけ市が手当してくれればよい。そうでない手当をたくさん支出しているのなら見直すべき。
- ・ 住民自治組織への補助金は2億円近くになっている。活動に見合った補助金になっているか。
- ・ 定年退職した人など、自治体のボランティアに出てもらうことが必要。ハードルが高くないような形で。
- ・ 年を取って何が嬉しいか。「人の役に立つこと」「ほめられること」
- ・ 人口減少が進み、葬式は地域で行われなくなっている。限界集落が増えている。

以上